

平成30年度文化講演会 「かごしま学Ⅰ」 公開講義

主催：鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター

共催：かごしま県民大学中央センター（かごしま県民大学連携講座）

カンゴシナ
Cangoxina

入場無料
(申込不要)

—世界史の中の島津斉彬と西郷隆盛—

《講演概要》

大河ドラマ「西郷どん」のキーワードが「Cangoxina」。これは16世紀に作られたメルカトルのアジア図に書かれている文字です。なぜこの文字が19世紀を舞台にするドラマで使われているのでしょうか。それは16世紀、鉄砲・キリスト教伝来の舞台が南九州だったように、19世紀、植民地政策を採る西欧列強との出会いの舞台も薩摩藩領だったからです。薩摩藩は日本の他地域より早く西欧列強の激しい外圧にさらされ、このままでは日本が植民地化されると危機感を抱き、それを阻止するために動き出します。その動きの中心に斉彬や西郷はいたのです。



講師 松尾 千歳（尚古集成館館長）

1960年福岡県生まれ。鹿児島大学法文学部人文学科卒業。1983年尚古集成館入館。同文化財課長、副館長を経て2016年より現職。子供のころから歴史好きで、多くの偉人を輩出した鹿児島にあこがれを抱き、鹿児島に住み、鹿児島の歴史・文化を調査研究するようになる。研究をすればするほど、自身を含め多くの人が鹿児島の歴史・文化を誤解していることに気づくようになる。当時の鹿児島は外交最前線であり、異国情緒あふれる豊かな文化とレベルの高い殖産技術を育てていたことをもっと多くの人に知ってもらいたいとの思いで活動をしている。

著書 『島津斉彬』シリーズ実像に迫る（戎光祥出版）2017。『西郷隆盛と薩摩』（吉川弘文館）2014。『鹿児島歴史探訪』（高城書房）2005他

共著 『鹿児島の歴史』（山川出版社）2011。『天璋院篤姫』（南方新社）2008他

論文 「海洋国家薩摩－焼酎が語る鹿児島の歴史と文化」（『想林』第4号：鹿児島純心女子短期大学）2013。「西南戦争と集成館」（尚古集成館）2017。他

日時：平成30年7月5日(木)

14:50～16:20

会場：鹿児島純心女子短期大学

【問合わせ先】

〒890-8525 鹿児島市唐湊4丁目22番1号 TEL: 099-253-2677

鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター

（江角は本学創立者Sr.江角ヤスにちなんで名付けられました）



〈交通アクセス〉